



ASSOCIATION OF



TOKYO

No. 26

発行 (財)東京都スキー連盟
 〒102 千代田区麴町4-5
 第6麴町ビル 551号
 TEL(262)2491(代)
 発行日 平成2年4月26日
 編集 SAT編集委員会
 印刷 エース工業株式会社

'90年度SAJ教育本部抄報



(財)東京都スキー連盟 副会長
 (財)全日本スキー連盟教育本部長

菅 秀 文

主たる25の国内行事および15の国際行事と会議に成果をあげ得たことは加盟団体の強力なご尽力の賜と感謝するものです。昨年のアニバサリーにプロ、アマ19ヶ国 963名参加のミニ・インタースキーが海外の高い評価を受けた故か本年3月、白馬八方で開催した第27回全日本スキー技術選手権大会にはイタリア、オーストリア、フランス等の元ナショナルチームの13名がフル・エントリーしての熾烈な斗いとなった。ステップターン、総合滑降、制限滑降では抜群の強さをみせアルペン先進国の面目を保つたがターンの性格と目的を把握した滑りと速さを強調した滑りとの評価が今後の課題として残された。

●主たる行事

- (1) スキー大学は530名が高山会場、猪苗代会場に参加して本年度の研修会テーマに基いて研修。
- (2) 文部省後援、学校体育指導者講習会(車山)は29都道府県 382名の参加を得て本連盟の教程、教本の理念の理解を図った。
- (3) 指導員検定会は最後の国認定資格の移行措置への故か5,860名が受検し、合格者4,186名の高い合格率となった。
- (4) FSS・Wカップが猪苗代リステルおよび飯綱の2会場で2戦が行われ、12ヶ国160名の参加を得たが、エアリアル、モーグル等で日本は好成績を収めた。
- (5) 全日本スキー技術選手権大会には海外選手を含めて298名が参加し、国内外の注目をあびた。
- (6) 公認スキー学校アニバサリー(綱張)にスイスナショナル・チームの参加を得てスラローム443名、120デモ・チーム408名が或いは激的な、或いは華麗な演技を展開した。さて来年1月12日~19日にインタースキーがオーストリア・サン・アントンで開催されるが、この大会には本年の技術選、デモ選をクリアした者が派遣される。公平を期すためにジャッジを含めて参加するよう他の団体にも呼びかけたが、エントリーはなく誠に遺憾であった。またインタースキーの三部会の一つであるISIA(国際職業スキー教師連盟)にも加盟すべく同連盟会長フィンク教授を招へいしてSAJがアマ・プロ、学校スキーの統轄団体なることの理解方と加盟要請をした。ちなみに90年の指導者数は35,240名(教師役15,000名、指導員約15,000名、学校体育指導員4,180名、パトロール指導者850名、FSS指導者110名)

社会体育指導者資格付与制度について

62年1月24日、文部省告示第5号により制定され、地域スポーツ（スキー指導員）、商業施設等スポーツ（スキーティーチャー）、競技力向上スポーツ（スキーコーチ）、の各指導者の三つの資格を、公益法人の資格を有するスポーツ団体に付与するものとした。

- 区分は初級（C）、中級（B）、上級（A）、とする。
- 共通科目は、①地域の初、中級は地方体協がスポーツ団体統一の中で実施する。
②地域の上級およびティーチャー、コーチ上級については日体協がスポーツ団体統一の中で実施する。

●専門科目は、各スポーツ団体が単独で実施する。

現在SAJは、次の表に記してあるように、

- ①競技経歴、指導歴、実技の実績に基づく共通、専門科目の免除
- ②準指、指導員の実績に基づく共通、専門科目の免除等の資格者の移行措置を日体協と共に、文部省と協議

検討中である。

なお、現行の準指、指導員の資格と検定は今後も施行する予定であり、資格付与を受検する場合も現行の指導者養成講習会、指導員研修会等で受講、研修が必修である。勿論、検定員制度も技能テストも存続する。要は公認スキー学校等で不特定多数に、職業的パイを受ける指導者は、スキーティーチャーとして生活する為に商業施設の資格を取得する必要があると思われる。

この資格付与については、南関ブロックは勿論、各ブロックにおいても、大変面白いニュースがある。菅平に設立されたSAJ、SAT公認の日本スポーツアカデミー専門学校（校長・岡田専務理事）である。世界に通ずる充実したスポーツハイムにて、専門科目、共通科目が修得できる。

次は既存資格指導者の免除暫定措置（案）の一覧表である。前述の如くあくまでも（案）であって、文部省との交渉によって今後変更はありうる。

（財）全日本スキー連盟 既存資格指導者の免除暫定措置（案）

区 分	ス ポ ー ツ 指 導 員						テ ィ ー チ ャ ー						コ ー チ							
	C 級		B 級		A 級		C 級		B 級		A 級		C 級		B 級		A 級			
	共通	専門	共通	専門	共通	専門	共通	専門	共通	専門	共通	専門	共通	専門	共通	専門	共通	専門		
指 導 員	SAJが特に認められた者	補講6h (免除34h)	補講6h 免除	補講6h (免除34h)	免除	補講7h (免除33h)	免除	集26h 通124h (免除150h)	免除	集26h 通74h (免除50h)	免除	集22h 通56h (免除72h)	免除	—	—	原則として 60h (免除290h)	—	原則として 40h (免除135h)	—	—
	スキー学校教師	補講6h (免除34h)	免除	補講6h (免除34h)	免除	補講7h (免除33h)	免除	集26h 通124h (免除150h)	免除	集26h 通74h (免除50h)	免除	—	—	—	—	原則として 60h (免除290h)	—	原則として 40h (免除135h)	—	—
	一般指導員	補講6h (免除34h)	免除	補講6h (免除34h)	免除	補講7h (免除33h)	免除	—	免除	—	免除	—	—	—	—	原則として 60h (免除290h)	—	原則として 40h (免除135h)	—	—
準 指 導 員	スキー学校教師	補講6h (免除34h)	免除	補講6h (免除34h)	免除	—	—	集26h 通124h (免除150h)	免除	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	一般指導員	補講6h (免除34h)	免除	補講6h (免除34h)	免除	—	—	—	免除	—	—	—	—	—	—	原則として 60h (免除290h)	—	—	—	—
一 級	スキー学校アシスタント	補講6h (免除34h)	基礎理論12h (免除実技22h 指導実習6h)	—	—	—	—	—	基礎理論60h 実技実習300h (免除340h)	—	—	—	—	—	—	原則として 60h (免除290h)	—	—	—	—
	一 般	—	基礎理論12h 指導実習6h (免除実技22h)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※SAJが特に認められた者とは、専門委員、ブロック技術員、校長もしくは主任の内から推薦された者を云う。
※優秀選手及びコーチの免除措置は別に定める。

集は集合、通は通信

新規受検者 時間数	40	40	40	40	40	40	集150 通150	集60 通640	集80 通70	集40 通310	集70 通80	集40 通310	集72 通86	集60 通290	集52 通32	集40 通135	集52 通32	集40 通135
--------------	----	----	----	----	----	----	--------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------	------------	-------------

オーストラリア、ゴールドコースト

7月17日(火)~7月21日(土)

5日間 お1人様 **99,500円**

レインボーツアー、サイパン

お1人様 **54,000円**より

その他、アメリカ、グアム、
ホンコン、etc

旅のことなら、なんでもお気軽に
「思いきって、お安くご提供させて
頂きます係」03-211-0823
まで、お問合せ下さい。

運輸大臣登録 一般138号



株式会社 **東京旅行**

千代田区丸の内1-11-4

都連の皆様からご支援をいただいた、日本スポーツ・レクリエーションアカデミー専門学校は、さる3月15日を以って入学希望者が60名に達したので募集を締切った。昨年の11月15日からの短期間の広報活動としては良い結果が出たと思う。NHK長野放送のTV放映による日本で初めてのインストラクター養成の専門学校と云う事がクローズ・アップされ、映像文化の強さにおどろくばかりである。一覧表を参考にすると1都15県からなる学生の分布であり、教育水準を高めるべく60名とした当専門学校のスポーツとビジネスの融合についての考え方に若い諸君が共鳴してくれた。

	県名	(男)	(女)	計
1	岩手	1		1
2	茨城	1	1	2
3	埼玉	2	1	3
4	群馬	2		2
5	東京	10	2	12
6	神奈川	5		5
7	長野	10	10	20
8	新潟	3	2	5
9	山梨	1		1
10	岐阜	1		1
11	愛知	1		1
12	奈良	1		1
13	滋賀	2		2
14	三重	1		1
15	岡山	1		1
16	広島	2		2
	計	44	16	60

(1都15県)

各地よりの第1期生をこの菅平高原の大自然の中で大事に教育したい。教育方針を3つにわけると

1. ビジネスマンとしての経理能力とマネージメント能力のある人材
2. 明朗性・行動性・指導性を備え、更にスポーツの専門能力をもっている人材
3. 国際人の基本、英会話とマナーを修得している人材

以上のような能力を目指したい。

在学中における資格とライセンス

1年次 日商簿記2級及3級。

販売士、情報処理第2種、全日本スキー技術1級、スキー旗門審判員、救急法救急員、レクリエーション2級指導者。

2年次 C級スキーセッター。

準指導員、レクリエーション1級指導者、サービスプログラムとしてプール水質管理士及小型船舶4級、普通自動車免許等も考慮中である。

将来の就職についてはスポーツ、レジャー、リゾートに係わりを持つ内外の産業界に積極的にコネクションを持ち活動して行く。我々は誇りをもって21世紀にリーダーとならん若者を送りだしたい。

何事も初めてであり、一步一步進めてゆく、新らしき未来への挑戦と考え、教職員一同頑張っている。

さて、日本スポーツレクリエーションアカデミー専門学校は社会体育指導者事業認定校の申請を5月中に日本体育協会に提出すべく準備を進めている。認定後は全日本スキー連盟及東京都スキー連盟の指導のもとで、社会スキースポーツ指導員の養成に当たりたい。

(財)全日本スキー連盟・(財)東京都スキー連盟 公認
日本スポーツ・レクリエーションアカデミー

校長 岡田 興一

長野県 菅平に **スキーインストラクターと J&SRA が開校**
経営者二世教育の専門学校



日本スポーツ・レクリエーションアカデミー 専門学校

'90年度生 願書受付中・学校見学随時(寮完備) ●入学案内書無料贈呈

姉妹校の大原簿記学校はビジネス教育の名門です。お問合せ ☎03-221-3591

'90シーズン終盤を迎えて

総務部長 二宮浩司

シーズン・インにあたって設定した目標を達成すべく、鋭意頑張ってきたつもりだが、「言うは易し、行なうは難し」なかなか思うにまかせない点もあり、必ずしも満足できる結果が得られたとは思えない。しかし手前味噌ながら、いくつかの点が前進し、成果を上げることができたと思っている。今シーズンは、スポーツ指導者の資格付与とその移行措置の問題で大きくゆれ動き、これにからんで準指・指導員検定の受検者が急増するという現象が起きた。このことは、予算編成や行事運営の面においても予想外の出来ごとであった。また、加えて暖冬傾向の影響から、雪不足によりクラブ対抗競技会や都民大会の開催を中止せざるを得なくなったことは、不可抗力とは言え今後に大きな課題を残した。'90シーズン終盤を迎え、総務部の立場から、ここに今年度の主な動きを要約してみた。

● オールマナックのより有効的な活用

行事運営上欠くことのできない事務手続きは、年毎にイベントが増えて繁雑になってきている。所属会員との連絡網を密にするため「事務連絡担当者会議」をより一層充実させ、意志疎通と共通理解を深めていきたいと考え、「オールマナック」の編集にあたってはより有効的に活用できるよう、その内容構成を工夫したつもりである。しかし今年もまた、各加盟団体内に事務担当制度が敷かれていることがいまだ不徹底なためか、いぜん数多くの会員から事務手続きの方法について、直接事務局に電話で問い合わせるケースが多かった。活用しやすいオールマナックを編集するだけでなく、加盟団体の事務担当がその任務を充分に果たしてもらえるよう徹底して行くことが今後の課題であろう。

● 広報活動の活発化

従来から行ってきた「スキージャーナルやスキー

グラフィック」などの「告知板」を活用した都連行事の広報活動はもちろんのこと、今年度は主要行事に総務部理事が直接雪上に出向き、積極的な取材活動を行った。特に「東京新聞」のご協力により、主要行事の新聞報道が活発に展開できたことは、新しい試みとして一応の成果が得られたものと考えている。ただ残念なことは、この東京新聞をスポンサーとして開催することになっていたクラブ対抗競技会が、雪不足で中止となってしまったことである。

● 協賛各社のご協力と新財源の確保

雪不足で東京新聞の協賛が得られなかったことは大きな誤算ではあったが、しかし今年もまた、財務委員会の積極的な活動により、協賛各社から多大なご協力をいただき、無事各行事を終えることができた。加えて、盛田会長から国際委員会の活動に対し、多額のご援助を約束していただいたことは望外の喜びである。

● 動き始めた国際委員会

委員会発足初年度としては、以下の2点にフォーカスを絞って行動を開始した。すなわちその1つは、海外スキー関連組織に対し、都連を紹介するための広報誌「Ski Activities」の作成である。英、独、仏の3ヶ国語からなるこの広報誌の作成は、すでに翻訳原稿の校正の段階に入り、今秋の完成をめざして鋭意進行中である。またもう1つは、スキー研修生の海外短期留学制度の確立である。今年度は東京都スキー技術選手権大会において優秀な成績を修め、かつ将来に期待できる2名の選手を選考しフランスに派遣した。この研修制度については、今後女子選手や競技選手の派遣も可能となるよう発展させていきたい。

● 創立55周年に向けて

来シーズンは都連が産声をあげてから55年目を迎えることになる。来年はこの輝やかな歴史の節目を祝い、この基盤をふまえて新世代の都連が、新しい未来へ向けてより一層発展して行けるよう共に頑張りたいと思う。

戦闘力の証明。

ワールドカップで、世界選手権で、その非凡な戦闘力を証明してきたサロモン。

第2世代のプログラミングブーツ。高感度ニューメカニズムのビンディング。

最高の出会いが、レーシングの地図を、また鮮やかにぬりかえた。

SALOMON

平成2年度シーズンを終るに当って

教育部長 渡 辺 茂

今期はあらゆる面で教育部関連の行事内容は、従来になく大巾に変革・変動した時期であった。

教育部としては、参加者数の増加を予測し、シーズン前に綿密に行事計画を立て、行事数を増し、スタッフ（教育部専門委員）数を30%増の91名に増員して教育部関連行事に対応した。しかし当初の予測以上に迄に参加人員が増え、それに伴い内容も増大した。

（指導員検定受検の特別措置）

全日本スキー連盟、執行部は新方針の一環として、文部省の打ち出した社会体育指導者制度施行のためのアプローチとして、現行の指導員資格保持者のそれへの移行措置を会員全体に円滑に実施させようと優遇措置的に現今の準指導員資格保持者に対して、指導員検定受検資格の大巾な譲歩を行なった結果、研修会参加者と指導員検定受検者の異常な迄の増大となった。結果としてスタッフ不足に加え、事務局の受付業務のパンニックを引き起し、（研修会・指導員検定会の申込・参加者の割り振り等で）完全にパンク状態に落ち入った。

（指導員研修会）

- (1)本来的なSAJ中央研修会の目的に沿った研修会。
- (2)海外を含めて、スキーを取り巻く幅広い知識の習得のための研修会。
- (3)検定会をにらみ合せた技術習得の為の講習会的な講習会。

以上の3つの目的を果すための指導員研修会を実施した。(1)、(2)は本来的に望ましいものであったが、(3)についてはやむを得ない措置であり、観迎せざるものであったが、850余名の指導員検定受検者の受検対応策としては必要なことであり、むしろ万全の体勢なり、充実した内容で対応できなかったのは心残りであった。

研修会の日程の延長とスタッフ数の増大によってその効果が望めたが、SAJの空発的な施策には実質的に無理な事であった。

(1)の研修会はテーマの主旨である運動とリズムについては、立体的な全身運動を中心とした可変性に富んだ技術の幅広い適応により、楽しい快適なスキー指導の展開をはかる。と云ったことが例年になく研修会参加者に理解されたと思う。

(2)の研修会は2つの異なった地域への派遣が国際交流と幅広いスキーの知識の習得・蓄積と云う点で、今後の東京都の指導者にとって実りあるものとなるよう願うものです。

（指導者養成講習会と準指導員検定会）

準指導員検定受検者とそれに関連した指導者養成講習会の受講者の数も指導員検定の受検者と同様に昨年より多かった準指導員検定受検者数は958名であり養成講習はそれに指導員検定受検者がある程度加わり多人数となった。当初は前年度の反省に基づき準指導員検定受検者の全体的なレベルアップと行事内容の主旨の徹底をはかる意味合いから、(1)日程の1日延長。(2)講師の担当受講者数の削減、講師1名につき受講者15名とする。(3)理論検定については理論講座にて指導者として最も必要な箇所を重点的に指摘して、そこからのみの出題とする。

以上の方策により実行した結果は理論は90%以上の合格率であり、実技検定終了後の総合判定は2会場、約1,000名の受検者数に対して平均45%の合格率であった。昨年より10%程度の合格者増となった。然し従来にも増してシビアな検定であったと思う。

他府県スキー連盟は平均70~80%程度の大変に甘い検定会であり、社会体育指導者制度への移行措置をに

ウィナーズ・ギア ダイナミック

DYNAMIC
SKIS
TECHNOLOGY OF THE FUTURE

品名: **VR27 TUBULAR TITANAL** 品番: **KASA 08** 輸入業者希望小売価格 **¥86,000**

●材質/芯材: ポリウレタンフォーム+ベイブレードチューブ ラミネート: 合成樹脂 滑走面: 合成樹脂(ダブルシンタードベース)

●構造: ダブルトーションボックス(ティタナル+ティナ) ●エッジ: デュリノックスエッジ1.6mm ●カラー: (1220) ダークグレー×オレンジ ●サイズ: 175-205cm(5cmきざみ) ●フランス製

商品についてのお問い合わせは販売アシックス消費者相談室までどうぞ。

〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1

TEL (078) 303-2233(専用)・TEL (078) 303-3333(大代表)

〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号

TEL (03) 624-1814(専用)・TEL (03) 624-2221(大代表)

●本文中には登録商標を記載していません。

●本文中の「DYNAMIC」はミズノ㈱の登録商標です。

●表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。

株式会社 **アシックス**

らみ合せた、迎合的な対応として受け取られても仕方がないと思うが、一過性的な指導者作りについては一考を要する。

(スキー技術選手権・デモンストレーター選考会)

(1)菅平スキー場での東京都スキー技術選手権と車山スキー場での南関東ブロックスキー技術選手権の二つの大会を通じて男女共にアルペン競技界で活躍していた競技スキー出身者の新人選手の台頭が大変に目立った。勿論現在活躍している現役のS A J デモのベテラン勢も含めて、八方における活躍が期待できる内容であった。

(2)3月の八方で行なわれた全日本スキー技術選手権大会では男子の優勝者の佐藤謙選手と女子では田端夏葉



選手が外国選手を除くと1位と云った素晴らしい成績であった。デモンストレーター選考会では斉木隆選手が男子の1位で選考された。その他予想通り新人・ベテラン選手達の大活躍で東京パワーが吹き荒れた。結果としてスキー技術選手権は男子が50位以内に昨年より4名増の13名が入り明年度出場枠が24名と増加し、都道府県別割当ての最多数となった。又デモンストレーターは現行の男子4名が3名増の7名、女子が1名増の3名で合計10名となり、これも他府県に比して最多保有数となった。

雪なしの東京都スキー連盟がS A Jの中で、技術面では最強の充実したスタッフを抱えたグループとなった。

今後はこれを糧に都連行事の指導員研修会や指導者

養成講習会等の様々の場を通じてそれ等のスタッフの持っている優れた技術ノウハウのフィードバックを計り、イベント内容のより一層の充実を目論むことも可能であると確信した。次年度以降のイベント展開の充実と盛り上りを期待されたい。又広域的にはこれ等のトップスタッフは東京都スキー連盟だけのものではなく南関東ブロック、しいては全日本の財産であるだけに心して有機的に活躍の場作りをしてゆかなければならない。

(B・C級公認検定員検定・クリニック)

前年度迄の反省に基づき公認検定員検定とクリニックは切り離すこととしたが、有資格者の増大も含めて4月に入っても行事が目白押しに開催されるのでスタッフの負担が長期的に増加することになっている。勿論、専門委員の増員により行事消化が円滑にはかかれてはいるが、シーズン全体を通じて参加者数・行事数の増大によるマンモス化は行事内容のより一層の充実と発展を考えた時に思い切った発想の転換をはからねばならない時期にきていると思う。

以上今期は組織の将来像を再考させられる様々な変革のきざしを見せられたシーズンであった。

まだまだ4月中旬過ぎ迄、教育部行事は多数消化のために続きます。 3月下旬



東京都スキー連盟公認スキー場

Shiga Sun Valley

志賀高原サンバレースキー場

法坂スキーリフト株式会社

TEL 0269-34-2255

FAX 0269-34-2616

'89~'90 シーズンの競技部行事を終了して

競技部長 小川 和雄

ノルディカ・ケスレーカップ・スラローム

この大会はSAJ・B級公認を受けて、すでに2回の実績となり、地元菅平高原の協力を得て、SAJアルペン界では有名大会となってきました。

このため、有力選手が続々参加することにより、そのレースポイントもSAJ一流大会レベルに匹敵するものとなりました。

従って、参加した東京都のジュニア選手のうち完走したものは、かなり優良のポイントが取得できたので、その後のSAJ公認大会で有利な地位を占めることができましたし、何よりも選手の自信になったと思います。

卒直にあって、東京のジュニアにとって公認大会への参加のチャンスは遠いものですが、開催県のワクにより、彼等も参加することができ、将来への発展にもつながることができるのです。

この点が、われわれの当初からのねらいであり、それに応えてくれるレベルの選手が出てきたことを嬉しく思っています。

今後もジュニア選手の育成のために、スポンサー企業、菅平高原と一体になって、この大会の運営を充実してゆきたいと考えています。

西武カップ都スラローム選手権・青年スラローム

サンパレースキー場正面斜面の頂上から、法坂スキーリフトのご理解により、中央にスラロームコースをセットできましたので、あたかも全日本選手権のような雰囲気で開催できました。

しかし、週末の志賀高原に遊びにきた一般スキーヤーは、残った斜面を遠慮しながら滑ることになり、わ

れわれとしても気の毒に感ずることもありました。

その上、1月の志賀高原は連日の吹雪に見舞われ、地元の深夜、早朝のコース整備の努力にもかかわらず、コースコンディションを良好に保つことができなかったのが残念でした。

法坂リフトを中心とする地元の絶大なご協力に深く感謝申しあげつつ、来シーズンに向け、より建設的な対応を考えなければというのが卒直な感想です。

全国中学校スキー大会

この大会の都代表選手団は都中体連スキー部が引率して参加していますが、都連としても予選会を共催し、大会にはコーチ団を派遣して協力しています。

今年の大会の女子スラロームには、全国の有力選手に互して東京の選手が3、4、8位に入賞し、昨年の7、8位入賞を上回る成績をおさめました。

男子選手も、アルペンに、クロスカントリーに、それぞれ雪あり県に劣らない成績をおさめ、東京のジュニアのレベルの高さと、選手層の厚さを示したと考えています。

これらのジュニア選手は、いずれも父兄の熱心な指導のたまものであることはもちろんですが、都連の長年にわたるジュニア育成方針もその一助になったものと考えております。

過去には、都連でジュニア時代を過した選手がワールドカップに出場したこともありますが、将来はこれを上回る選手を出すことが夢となってきました。都連全体のジュニア育成へのご理解をお願いします。

スキーマスターズ東京大会

技術選が求める
次代のテクニク

「朝全日本スキー技術選手権大会」と
「オレゴン・テクニカル・キャンプ」から
税込価格3,800円(カラー45分VHSのみ)

スキー指導の実際 日本全
▼中級をめざして(カラー30分
▼上級をめざして(カラー45分
各巻税込価格12,300円)

解説・日本スキー検定
(ケース・スタディ・実務とその評価)
税込価格12,300円(カラー30分)

スキー図書・'90シーズン新刊/既刊
財全日本スキー連盟編著

フリースタイルスキー教本
B5判・定価2,400円(税込)310

競技スキー教程
B5判・定価2,880円(税込)310

楽しいスキー 教初級スキー
A5判・定価1,440円(税込)280



★好評発売中!
スキージャーナルの
スキー図書&VTR

VTRO・SUスキー研究シリーズ
監修・財全日本スキー連盟

(株)スキージャーナル
〒160 東京都新宿区四谷3-11
☎03(353)3051 振替・東京0-33504

この大会は、SAJ主催全日本スキーマスターズ大会の一環として新設されたものですが、同大会のスポンサーの都合で東京大会は協賛企業なしで開催することになりました。

その上、会場も都合により急に変更になったりして、参加者に大変ご迷惑をおかけしました。

しかしながら、大会当日は天候に恵まれ、地元斑尾高原の協力もあって、大変楽しく充実した大会となりました。

マスターズの選手も、大いにエンジョイできたものと思います。

今回は第1回でもあり、長野県のマスターズ大会と日程が重なったこともあって、東京以外の選手の参加が少ないのが残念でした。

次回からは全国にPRを徹底し、にぎやかに開催したいと考えています。

小学生スキー大会

この大会は、ジュニアクラスの底辺拡大をねらって本年に新設したもので、都連登録の有無にかかわらず広く東京都の小学生に呼びかけることにより、公益法人としての責務の一端を果そうと考えたものです。

東京新聞のご協力を得て同紙面に大会の予告記事もごせていただきましたが、第1回でもあり、残念ながら参加者数はあまり多くありませんでした。

小学校1年生からの参加者は、野辺山ハイランドのスーパーレッドコースのアイスバーンに挑戦し、全員無事にゴールインをしました。

今回は、ライオンズクラブ、レオ・青少年育成委員会にご協力をいただきましたが、来年も本大会を、盛大に開催したいと思います。

クラブ対抗・都民大会

今シーズンは雪の量も順調と考えていましたが、2月中旬から急に暖気が現れ、以後の上越地区の大会はすべて中止となってしまいました。

そのひとつがクラブ対抗・都民大会です。同大会はこれで、2年続いて中止となってしまいました。

クラブ対抗は、エントリー数700人を超える都連最大の大会ですし、都民大会は、春夏秋冬を通算して都の区都市対抗戦が行われる一環となるものです。

上越地区は4年続いた暖冬の中での2年連続中止ですから、石打の地元からは来年に対する不安の声がすでに聞かれます。

同地区は交通の点では参加者にとって理想的ですが、積雪に不安があつてはいよいよ会場変更を考えざるをえないようです。

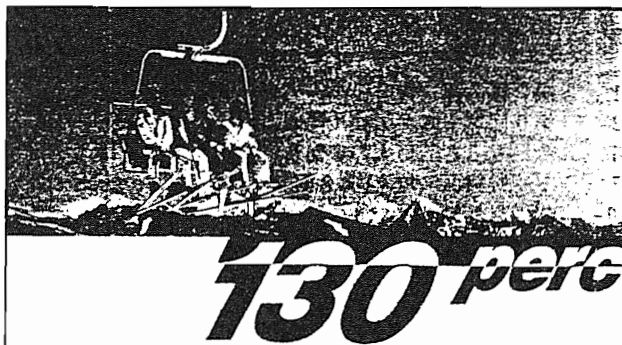
参加者の方には、今後ご不便をかけることになるかもしれませんが、クロスカントリーもでき、多人数のスラロームもできるスキー場は限られています。どうぞご協力をお願いします。

なお都連のアルペンポイントについては、昨年引き続き多数の公認大会が中止になったことによる調整が必要かどうか、至急検討を開始したいと考えています。いずれ結果をお知らせします。

フリースタイルスキー観戦記

もう20年も前のことだろうか。基礎スキー仲間の友人が突然宙返りのアクロバットスキーに転向した。サーカスのような見事な技に、これもスキーなのかと驚嘆した。どうやら友人は今でいうフリースタイルスキーヤーを志していたようだ。昔を思い出しながら私はこの3月上越国際で開催された選手権大会を観戦した。

まず驚ろいたのは「ここはサーフの浜辺か」と感懐いする程選手達ウェアの華やか、次にその獨創性ある妙技の面白さであった。タイムを競う競技スキーとは異り、レース中の演技の個性表現は見ていて実に美しくそして楽しい。しかしどの種目にしても演技以前に基礎スキー技術が文字どおりベースになっていることを実感。まさに現代の若者の生き方にピッタリのスキーだと感じた。私は年甲斐もなく興奮し、若かったら挑戦しているなど思いつつ拍手を送り続けた。（久保田記）



車山高原SKY PARKのリフトが、'88シーズンの#1クワッド、
'89シーズンの#2クワッドと高速化され
さらに'90シーズンはリフト快速度30%アップと、
これはとても心地良いゲレンデ進化率です。



お問い合わせは
信州総合開発観光株式会社
長野県茅野市ビーナスライン車山高原
☎0266(68)2626 〒391-03

'90シーズンを振り返って

フリースタイルスキー部長 大槻 譲

『暑さ寒さも彼岸まで』とは、いうものの都内の桜は、もう開花し始めている。たしかに異常気候である。振り返って見ると、今シーズンも短い冬であった。こうした状況の下で、当部の行事のいくつかは、中止、変更のうき目に会い、天候の為とはいえ、残念なことであった。

特に第9回東京都選手権大会は、今年こそ雪の心配のない豪雪の上越でと会場を設定したのだが、2月の終りには、上越国際スキー場の大別当コースを中心とするメインゲレンデが、まっ黒になるという状況となり、ハムレットのように苦慮した。現地視察の結果、や、アクセスに難はあったが、北斜面となる清津ゲレンデを使って、バレエ、モーグルの2種目のみだが、実施できたことは、スキー場側のご支援と関係役員ならびに選手諸君の協力のおかげと心から感謝している。



下表のリストのように、延 200人をこす申込みがあり、モーグルは、何と 100人以上となり、彼等の期待に沿う為に、何としても実施したかった。

初めてのゲレンデで、コース造りに苦心したが、大会前々日に春の淡雪とはいえ50cmの降雪があり、整備もまずまずとなり、3月9日及び10日の2日間で開催した。

本年の特記事項としては、モーグル種目で、参加数の多さと共に、活きの良い新人の参加が多かったことが上げられ、今後に明るい希望をもたせてくれた。ちなみに、上位5人の選手は、素晴らしい滑りで、五輪へ向け、都連期待の星といっても良い。

1位 林大樹(リステル) 2位 大野佳之(フリー)

3位 根岸太一(フリー) 4位 土谷孝幸(フリー)

5位 時井 秀(高体連)

ハイライトといえば、2月猪苗代(リステルスキーファンタジア)と長野(飯綱高原)で行われた、'90F

ISワールドカップでの日本選手の活躍であった。2戦とも、'90分特別番組で全国に放映されたので、ご覧になった方も多いと思うが、天候、雪量、雪質共に申し分なく素晴らしい大会となり世界の強豪選手の華麗かつ力強い演技を見られたことである。(17ヶ団・154人)日本チームでは、

エアリアルで、男子で史上初めて横山岳男選手(リステル)が、フルフルフル(3回転3ひねり)の高難度の技を決めて6位入賞(猪苗代)表彰台に立った。女子では、2会場連続2位入賞した工藤千鶴子選手(北海道)が光った。彼女は今季で引退する。

バレエでは、田中由香子選手(港区)が10位(猪苗代)男子では丹野正義選手(福島リステル)が、史上最高の17位(長野)と健闘した。

五輪種目となったモーグルは、フランスを中心とする強豪がひしめく中で、山崎修選手(北海道)が、9位(猪苗代)となり将来に夢をつないでくれたのが記憶に残る。

W杯終了直後から連日の雨で両会場共、アツという間に雪がなくなったことを思うと、幸運であったとしか言いようがない。ヨーロッパも異常少雪で、西独での第9戦が中止になって、日本での第7戦、第8戦の成功がより強い印象を関係者に与えた '90シーズンであった。



エアリアル 2月11日 表彰式
左端が6位入賞の横山岳男選手。(BIB No.156)

(中止)

	参加 申込者	バレエ	モーグル	延人数	エアリアル
女子選手	30人	21人	21人	42人	8人
男子選手	91人	43人	82人	125人	31人
計	121人	64人	103人	167人	39人

第1回海外派遣選手報告

この企画は、東京都スキー連盟が、国際交流の一環として本年度より実施した新事業の一つである。

去る1月26～28日、菅平高原大松山ゲレンデで開催された、東京都スキー技術選手権大会で好成績を修めた優秀選手の中から2名が選出された。

この栄冠を射とめたのは浜野浩君(スラローム)、鈴木正之君(シュア)で、この2人はフランス、ラ・プラーニュへ、現地研修を行い、技術の研鑽を行うとともに、国際交流の任を果たす目的で派遣された。

以下はその報告である。



フランススキー研修を終えて

浜野 浩
鈴木 正之

八方での全日本スキー技術選手権大会が終わり、シーズンにもひと区切りついた3月24日私たちは研修のためフランス、ラ・プラーニュへと旅立った。

ラ・プラーニュはフランスの南東部に位置し、スイスのジュネーブから車で約2時間半のところにある。スキー場の歴史としては、30年とわりに浅いが、その広さは千代田区の約10倍の面積で、スロープの数は104もあり、それらを1本につないでみると、なんと200kmにもなるという。文字通りダイナミックなスキーリゾートで、そのスケールの大きさには驚かされた。

もちろん、日本のようなりフト待ちなどなく、モンブランを眺めながら滑れるというおまけつきの360度パノラマ展望とくると研修の場としてはこれ以上のところはないと思う。今年は30年ぶりの雪不足と聞いたが日本から来た私たちにとっては、うらやましい限りのコンディションだった。

私たちのコーチは、ラ・プラーニュスキー学校所属の元プロレーサーであるフランソワ氏で、今回は細かい型にとらわれず、あらゆるシチュエーションの下でいかに滑るかということに重点を置いて練習した。アスピリンスノー、アイスバーン、コブ、オフピステといろいろ体験でき、またフリースキーイングに限らずポール(スラローム・リーゼン・ダウンヒル)やジャンプ(20m)などもどんどんチャレンジさせられた。その中でも特に、ダウンヒルトレーニング、オフピス

テの大滑降は、すばらしくまず日本では経験できないレベルのものであった。大自然の中で、広い意味でのスキー技術を改めて考えさせられ、これからの自分たちのスキーのテーマを見つめ直す良い機会を与えられたと思う。

ラ・プラーニュを訪れる日本人はまだ少なく、私たちは、村長をはじめ、観光局、スキー学校の方々などから温かい歓迎と協力を受けて無事に研修を終えることができた。また、最後の夜には松明滑走にも参加し、昼のハードな研修と共に心に残る良い思い出となった。1992年のオリンピック、ボブスレー会場となるラ・プラーニュの山々を眺めながら、それぞれの思いを胸に私たちは帰路についた。

今回の研修に派遣させていただいたことで、自分の中でスキーの幅がさらに広がり、来シーズンに向けてまた新たな気持ちでチャレンジしていける力がついたと思う。また、この研修の様子は地元の新新聞でも紹介され、もうひとつの派遣の目的である国際交流の役割も微力ながら果たせたと思う。

最後に名誉ある第1回フランス派遣選手として、私たちを送り出して下さった東京都スキー連盟の皆様へ感謝すると共に、今回の経験を生かして今後ますます努力向上していくつもりであります。どうもありがとうございました。

もっとポールを(Ⅲ)

監事 稲垣 彰

発想を転換させ、雪国のスキーヤーに東京のスキーヤーの存在を示そうと前号で書きました。意気込みだけ、だったとしても、東京のスキーヤーは健在だし、日本のスキー界は前進するのです。

かつて、東京のスキーヤーは地方のスキーをリードしていた時代が長く続いていたのです。

現議員の田さん、杉山忠さん、鈴木徳さんなど、大変な存在でした。石打が畑からスキー場に変る頃の地方のスキーの名手は、石打の片山青年、小出の平沢少年、赤城の大熊先生など極めて特異な人達でした。

東京から車でくるスキーを揃えたまま曲れる人、外国のスキーをもって毎週スキーにくるスキーヤー、それをスキー場の物陰で青鼻を垂らして見ている、着物の袖を光らせたガキンチョ達を誰も気にしませんでした。

列島改造論が地方の欲を目覚めさせる頃、成長したガキンチョ達を含めて白い雪が黄金色に変るのを知ったのです。

雪が地域格差を縮め、施設が整う頃、地元にも風爽とした青年達が何時の間にかいたのです。

例えば白馬です。昔は細野部落と云ったのですが、今はすっかりヨーロッパ調の街になり、主婦達は東京や関西の有名四大卒の元お嬢様がほとんどなのです。

東京のスキー大会でも、上位は地方組が多く、国体の選手団でも東京育ちはチラホラ混じる程度。

気が付いて見たら、スキー場はすっかり近代化され、鼻垂れ小僧は校長先生、その息子達にスキーを教わるのが、東京のスキーヤーの普通の姿になりました。

東京都スキー連盟と云うのがあります。

私も役員をやっているのですが、組織人員2万5千人、指導者4千5百人、3百万人と云われる東京の未組織スキーヤーに、どれだけの知名度があるのだろう。一方では、スキーが上手いのは当たり前が、流れ込む

し、もう一方はこの3百万人だ。

この狭間に、東京都スキー連盟はあるのです。

両者の目に見えない圧力を、牛耳れる筈がない。彼等にSATを神の啓示の如く知らしめるためには、組織の号令ではなく、イメージ、感動からくるイメージしかないのです。

3百万のミーハーの中には、私達にとって有用なセンスの持ち主も居るに違いない。

彼等を感動させ、雪国育ちを納得させ得るスキーイメージは、丸文字のように可愛いものではないのです。制限されたコースに挑み、タイムを競い、コース取りを考え、全身で感じ取った滑りの感覚なのです。

ゲレンデでソフトに滑った時も、コースで火の玉となった時も、そのスキーイングが本物であれば必ず見る人に感動を与えるのです。

感動がイメージとなり、3百万に僅かなインパクトでも与え得れば、SATは大きな仕事をしたと云えるでしょう。

「速いだけを考えて滑り、自分の滑りの美に気付いていない、と、云うことが美しかった」雪国のスキーヤーが、今は自分の美に気付き、強さや、美しさの秘められたスキーは、見せるスキーであり、金になるスキーと云う落とし穴を彼等は掘りはじめています。

かつて、雪国のスキーイメージを支配した東京のスキーヤーの捲上重来の時期が同時に来るとも云えるのです。

私のスキーの時代は、間もなく終るでしょう。何しろ回想するシーンが全て白黒なのです。若い東京の皆さん頑張って……。



<p>国内スキー(ウィンター&サマー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大学、社会人クラブの各種合宿プラン ●バス、列車、航空機、宿泊の手配 ●ゲレンデ直行バスがさらに充実。 方面/志賀全山、蔵王、野沢、斑尾、草津、白馬山麓など16ルートにワイドに運行。 ●海外スキー(ウィンター&サマー) ●記念事業としてのツアーなど、各種イベントツアーは、プランニングからお世話します。 ●ヨーロッパ、アラスカ、カナダ、ニュージーランドへは、信頼のブランド「LOOK JTB SKI」でおかけください。 	<p>★ Call First SUN&SUN</p> <p>スポーツ旅行のプロフェッショナル、 あなたのパートナーです。</p>	<p>JTBグループ SUN&SUN 運輸大臣登録一般旅行業第568号</p> <p>〒130 東京都墨田区両国3-26-5 両国ビル 団体課 03-634-5276</p>
<p>SAJ旅行社協会員 SAT賛助会員</p>		
<p>その他、アウトドアスポーツ(テニス、ヨット、ウィンドサーフィン、ダイビング、乗馬、登山、キャンプなど)のこころ、信頼と実績のある当社で、ぜひ!! カタログご希望の方は係員までお気軽にご連絡ください。</p>		

(財) 東京都スキー連盟 研修旅行ドラゴンバレー

('90年 1月14日～17日)

日本アルペンスキークラブ 坂野修子

成田から約2時間半、`お久し振り、`やあやあ、お元気でした?と挨拶をかわし、食事を終えると、もうそこは金浦空港。

ここは志賀高原かなと思えるような景色の中をバスで4時間ほど、お待ちかねのドラゴンバレーへと到着したのであります。

ホテルの玄関に入った途端、`ん?何かニオウ。`そうやはり言われていた通り、キムチの臭いが何処からともなくしてきたのであります。ロビーや廊下も、やはりその臭い。美しい女の人達の、喧嘩をしているような激しい言葉、不可解で読めない文字の表示を見つつ、`ああ、やっと来たのだな、と、しみじみ感じたのであります。

その日のスケジュールはハードで、到着後すぐ夕食。出ました焼肉とキムチバリエーション。(キムチには私達の知っているカクテキ、オイキムチの他に、塩辛の辛いものや、スープに野菜が漬いているもの、大葉のキムチ等、沢山種類があって、韓国ではいくらでもお代りできるのです)

その後は、研修会となり、今シーズンのテーマであります「個性と調和」を勉強し、長旅の疲れでコックリコックリしたり、お酒でボーとしている人に、追討ちをかけるように検定員クリニックも行かない、こうして長い長い1日が終わったのであります。

さて、2日目。いよいよスキーです。気温マイナス19.5℃! `ヒュー、この寒さの中で滑るのかしら?と心して着膨れて出て行くと、風もなく晴天のため、思ったより暖かく、大丈夫。早速、記念写真なんか撮り、元気に滑り始めたのであります。

ドラゴンバレースキー場は、裾広がりで行くほど急になっており、人工降雪機で雪を付けている為に、全体的に堅くアイスバーンが多いようです。コースは14もあり、全部回するには半日以上かかり、急斜面には必ず迂回コースがついていて、初心者でも充分に楽しめます。高速4人乗りリフトは一度登ってドーンと谷を下り、又登ると言う面白い掛り方をしている、長いコースを滑り降りる事が出来ます。リフト待ちはほとんど無く、高級リゾート地と言うだけに、ゲレンデのスキーヤーのウェアもお洒落で、用具も一流品を持っており、苗場にいるような人達と大差ないほどでした。

ドラゴンバレーには、シルバーコースという韓国一の急斜面があります。このコースは、ほとんどがキンキンのアイスバーンで、我が3班(1番若い班で、と言っても平均年齢は40才を超えるかも?)もチャレンジしたのですが、とにかくツルツルで歯が立たず、1度滑り出したら止められないというバーンで、レンタルスキーの方々は悪戦苦闘していたようです。そこでは、ナショナルチームもポールを張って練習していました。コーチは日本人です。まだまだ技術的には荒削りで、見ていても危なっかしいのですが、若い選手がとにかく果敢にポールに向かってつっこんで行くのを見ると、キムチパワーの底知れなさに圧倒されてしまいました。

今回の研修会は3班に別れて行なわれていたのですが、実はこの他に団長であります、菅先生らがコーチとなった、`究極の0班、`というのが誕生しました。4級から指導員までをレッスンするというもので、`コラ、そんな姿勢ではない! `とストックでおシリを叩いた生徒が、後で職業を聞いたところ最高裁の判事だったというエピソードもあり、`初めて叱られた、と話されていたそうです。

夜は日韓親睦会が催され、私は光栄にも、韓国スキー連盟副会長 柳さん、専務理事 金さん、ドラゴンバレー理事南宮さんに、全日本スキー連盟のバッジを胸にお付けするという大役を仰せつかり、緊張的一幕もありました。

その後はディスコタイム。頭にグラスを乗せて踊る人、華麗なジルバのステップを見せる人、ゴーゴーダンスあり、はたまたチークダンスありで、老若男女入り乱れ踊り狂い、飲みまぐり、雪上以外でもテーマであります「個性と調和」が見られました。

3日目は半日だけスキーをし、お名残り惜しくもソウルへと向かいました。

夕食は自由ということで、折角本場へ来たのだからと私達6人は、骨付きカルビを求めて街中へ。ドラゴンバレーでは英語も日本語も伝わりにくかったのですが、ソウルに行けば日本語のメニューもあり、カルビ、ロース、ビビンバ、釜飯風混ぜご飯等、かたっぱしから注文し、肉もキムチも缺でジョッキジョッキと無造作に切りながら、モウモウの煙の中、豪快に食べまくりました。

最終日4日目は、市内観光及びショッピング。池も凍る寒さの中、公園や博物館を見学し、買物に走り回りました。私は、皮ジャンと元気の出る高麗人蔘をお土産にしました。

こうして私達一行は、スキーも食欲も物欲も満ち、キムチの臭いブンブンで無事日本に到着したのであります。忙しかったけれど、充実した4日間。本当に楽しかった!!

平成2年 指導員研修会 カナダ会場に参加して

齊藤敬三

久しぶりの海外旅行でやや緊張して成田に向う。広田副部長の指揮でチェックインなどスムーズに終了。参加者が慣れているためもあるのか、割り当てられた座席が禁煙席で喫煙者にはツライ思いをした様である。カナダの国内便はすべて禁煙と聞く、喫煙と飲酒にはキビシイお国柄の様である。バンクーバー空港には予定通り到着。現地ガイドの出迎えをうけ、税関はフリーパス。日本では見かけない、ボルボのバス5台に分乗してウイスラーに向う。どこを見ても広い。道は市内を抜けスタンレー公園より高速道路となり、山岳地帯へ進むと風景は絵ハガキ的な美しさを展開していく。すばらしい眺めを楽しみながら2時間半程でヴァイレッジのホテル到着。チェックインやレンタルスキーの手配をあわたくしと済ませ、リステルホテルのホールで、開会式と現地オリエンテーションを行った。

岡田専務理事の挨拶に始まり、役員として、教育部広田、杉崎両副部長、板垣、田代、山田、南雲の4講師と参加理事、そして現地でお世話になる方々の紹介があり、日程の発表等があった。

その夜、ホテルでのディナーパーティーは、テーブルのキャンドル、カクテルライトに浮び上る夜景、ホテルからのワイン、おいしい料理で会話も弾み雰囲気は盛上っていった。

翌朝8時45分ウイスラーゴンドラ前集合、各ホテル



から人が押し寄せる様だが、10人乗りのゴンドラは収容力もあり、スムーズに乗ることが出来た。標高差1,157mを18分で一気に上る。ヴァイレッジを眼下に展開する各コースはラトラックですべて整備されており、シュプールもついていない。研修会各班別にガイドがつき、コース案内があった。コースの幅は広く、良く整備され、距離も長いので、ガイドのとばすこと、とばすこと、ついて行くのも大変。かなり滑ったつもりが、標高差の3分の1程度、リフト1本分であった。

午後はカナダの元オリンピック選手2人とゴールドメダリストのキャッシーさんのデモンストレーション、とSAT専門委員による研修会テーマの研修を行なった。

夕方よりヴァイレッジのコンベンションホールで、理論研修として、体育心理学を研究している、キャッシー・クライナーさんが「精神面からのスキートレーニングについて」、大槻理事の通訳で講演があり、大変参考となった。

岡田専務理事よりSAJの現況と将来について、又板垣講師を中心とした各講師より研修会テーマについて解説があった。ここで特記すべきは、いつもならス



キウエアかトレーニングウェアである講師が4人そろってダークスーツにネクタイの正装で登場し、満場の拍手をあげた。これも海外研修会であればこそこの場面。場所をリステルのホールに移し、日加親善のパーティーが加藤理事の乾杯で始まり、友好的雰囲気、地元運動具店協賛の抽選会もあり、大いに盛り上がった。

翌日、朝のうち強い降りであった雨も上りブラッコムに登る。気温も低く、視界も良くない。山頂へは大きく迂回した所からセブンヘブンリフトに乗る。頂上は風も強く寒い。リフトの反対側は深くえぐれた様なカールになっており、氷河地帯とのことであるが、聞いていなければわからない。ここから地元浜崎氏のガイドで下る、日本なら剣岳から立山を滑っている様で

スケールがやたら大きい。樹林地帯に入っても延々と先が続く「皆さん頑張って下さい。もうすぐ半分の所ですから」と聞いたとたんゲンナリした人も居たようだった。

まだまだ報告したい事は沢山あるが、ガナダ会場での印象を上げて見たい。○この研修会では十分滑ることが出来た。○研修会テーマ以外の講演も大変参考になった。○理論、実技のデモストレーションの両会場ともに良かった。私自身も満足出来る研修会でした。

最後に設営から帰るまでお世話頂いた役員諸氏に心より感謝の意を表したい。

新企画 第1回小学生大会開催される

競技部 河崎 和 夫

本年度より、競技部ではジュニアクラスのスキー技術の普及と進展を願って、東京都スキー連盟に登録の有無にかかわらず、広く小学生のための競技会を企画したところ、男子33名、女子25名の参加者を得て、和やかなうちにも、闘志あふれる競技会が絶好のコンディションの中で開催されました。

この競技会は、330A 地区レオ青少年育成委員会、(株)野辺山ハイランド、及び中日新聞社東京本社のご協力を頂いて、3月26日(月)の午後1時30分より野辺山ハイランドスキー場のスーパーレッドコース(全長530m、最大斜度35度、標高差120m、平均斜度14度)で旗門数を21にして小学生らしいコースセッティングにより開催したものです。

これに先立って行われた開会式では、都連代表の小川和雄競技部長に引き続き、レオ青少年育成委員会委員長の渡辺豊隆氏からも選手に対する激励と健全な心身の発達を願う挨拶がなされ、平井小の中村友彦君の選手宣誓の時は気分も最高に盛り上がりました。

栄えある第1回の各組優勝者は、女子1・2年の組・加藤有里(武蔵野東)、男子同組・佐宗洋彦(高井戸)、女子3・4年の組・丸田園子(稲城第8)、男子同組・小机達士(五日市)、女子5・6年の組・片岡永里(双葉)、男子同組・大口太郎(高島平第3)であります。

本大会は、左右の回転がスムーズに出来る小学生ならどなたでも参加できるものであり、同年代の仲間とタイムを競いつつスキースポーツの楽しさに触れて頂くことにより、その底辺の拡大を図るものであります。

参加選手や、ご父兄・クラブコーチ等の皆さんも、この大会終了後に、企画や諸計画に対して大変な好評を頂き、執行部と致しましても、次年度開催に係る大いなる自信を感じたところであります。

今後とも本大会を発展させることに努力を続ける所存でありますので、この点についても皆様のご支援を期待いたします。



生い立ちと現状

モンタナスキークラブ 渋谷 元次郎

西新宿青梅街道際に、登山とスキーの専門店山幸がある。その店に、昭和34年の春、杉山社長の御尽力によりモンタナスキークラブが誕生しました。

当時冬季オリンピックの候補地として話題となったスイスモンタナの素晴らしいスキー場から、その名を取ってクラブの名称とし、発会式は砂防会館で、会員は42名でした。当時のスキー連盟理事岡沢氏の祝辞を頂いて盛会で楽しいスタートになりました。

クラブ主催のスキー行も、参加者に充分満足してもらえる様に、役員各位の心配りが実を結んで、会員数も徐々に増えて行きました。しかし、指導員も準指導員も会員中には無く、検定を希望する人達のために、他のクラブの有資格者をお願いすると云った様な不便もあり、連盟に加盟している以上は、その主旨を全うするために、先ず技術レベルを高め、会員の充実を図る方向に進みました。その後若干の紆余曲折もありましたが、大過なく今日を迎えることが出来ました。

現在会員数90名（実動半分）、シーズンスキー行3回で、正月のサンバレー合宿は、ここ10年来、会員とその家族で大賑合です。特に恒例となった元旦の夜の花火大会と松明滑走は当クラブの超目玉です。講習は1級から5級迄の受験組と1級保持者の応用組を設け現級確認等結構楽しくやっています。3月は浅見スキー場で運動会と称するポールを立て、のタイム競いですが、それぞれが闘志を燃やして、クラブの最後を締め括ります。オフトレもテニスを主に最近はゴルフ大会と結構忙しいクラブです。いずれにしても都連加盟30周年を迎え、運営面や活動面のマンネリ防止に努め若いクラブ員を育成し、活性化を計って行きたいと考えています。

伝統と革新を基本に

東京スキークラブ 箕島 正尋

私たちのクラブは昭和36年、池田内閣が「国民所得倍増計画」を策定し、国民生活水準の向上や完全雇用といった政策を打出した頃、トレンドィーな若人達によって設立されました。設立当初は指導員が1人もいないクラブであったこともあり、技術的な面について右往左往の状態でしたが、当時流行の「スキー映画会」を共立講堂などで主催し毎回大入満員の盛況でした。

この事業面の成功は、クラブの結束とお正月スキーなどの募集には苦労が殆どありませんでしたが、一方でスキー技術の向上を遅らせる結果を招きました。そこで、クラブ運営の方向を多少修正し、技術の向上をめざすことになりました。この目標は個人の自主的な努力もあり数年後開花し、有資格者が10名を越えるまでになりました。

都連には昭和38年「東京スキー研究会」の紹介で加盟しました。「東京スキークラブ」という名前は東京を代表する様で、都連ではこの名称を認めるかどうか大分問題にしたと聞いています。都連傘下には多くのクラブがありますが、私たちのクラブは技術は問わず誰れでもすぐ入会できるといった全都的なところに特色があり、このことは大変良いことでもあると同時に、運営にあたっては苦労する条件ともなっています。しかし、この条件をむしろ仲よく楽しい活動になるよう常日頃知恵を出し合っているところです。生涯スポーツであるスキーを通じて人的な交流を深め、潤いのある生活を営むとともに来たるべき高齢化社会にも対応しう様クラブを発展させていきたいと願っています。「信念ある我流は信念なき正統にまさる」とも言いますが、我流で詰ったならクラブに参加し、解決の糸口を掴んでもらえたなら、これ程嬉しいことはありません。

都連の皆様のご
ホームグレンデ



スイスダボス姉妹都市

東京都スキー連盟公認第1号スキー場

信州

菅平高原スキー場

今シーズンのご利用ありがとうございました。
来シーズンもよろしくお願ひ申し上げます。

菅平高原観光協会

〒386-22 長野県小県郡真田町菅平 ☎(02687)4-2003(代)

都連加盟20周年によせて

ソニースキークラブ部長 松本喜晴

私達のクラブは、日本アルペンスキークラブ様のご紹介による都連加盟後、お陰様で20周年を迎えることができました。創部から数えると早いもので、本年4月には39年が経過いたしました。もともとは、ソニー内の山岳部からの独立という形でスキー好きが集まったのがスタートです。あくまでも、一企業の同好会的なクラブであるため、活動もある程度限られた範囲でおこなわれてきましたが、それゆえにかえって地道に充実した軌跡が残せたように思えます。ただ発足当時は現在のように週休2日制の時代ではありませんでしたので、特に日程のやりくりではかなり苦慮もいたしました。準指導員の資格検定の為の休暇を得るために前日に自分の結婚式を合わせ、その休暇を検定にあてる者もいたほどでした。クラブの主な活動は講習会・検定会等を盛り込んだ合宿を中心に基礎スキーの技術向上に努めています。最大の行事は山岳部時代から続けてきた「お正月合宿」で、これは会社のお正月休暇をフルに利用してクラブ員だけではなく一般の社員にも参加を呼び掛けて多い時で総勢200名弱の人数で講習検定をおこなうものですが、今シーズンも第33回目を無事終了することができました。部内での指導員の育成も活発で有資格者数は今年で50名を数えるに至りました。また活動は冬だけでなく、オフシーズンにはテニス・ウィンドサーフィン・ビーチバレー等のスポーツに挑戦し、クラブ内の交流をはかっています。

毎年充実した活動で勢いが衰えるどころか年々基盤がしっかりしていくのはクラブ員の一致団結のおかげと心強いばかりです。最後にこの場をおかりしまして、これまで活動の基盤となり支えとなってくれた諸先輩ならびに関係各位に対し改めて感謝の意を表します。

編集後記

今年のスキーシーズンも暖冬の天候にふりまわされて終わった。都連の大イベントの一つである都民大会は昨年引き続き中止となった。他の大会や行事も開催寸前まで悩まされた。

一晩で軒下まで埋まる程降り、積雪など心配したことが無かった一昔前が夢のようである。地球の大規模的異変なのか、或いは一過性のものなのか。ともかく、ゲレンデの条件はかなり厳しいものを要求されてくるのではないだろうか。

東大和のスキー

東大和市スキー連盟 竹部雅人

当連盟は1967年（S43年）スキー愛好者が今は亡き吉田会長のもとに集まり結成され、その5年後に都連に加盟しました。結成23年、都連加盟18年の比較的古い団体です。

組織上は市民を中心とした「やまとクラブ」と市役所職員による「市役所職員クラブ」の二つで構成されています。会員数は二つのクラブ合計で約60名ですが、行事に参加する人数は約半数といったところで比較的小さい団体です。有資格者は指導員5名。

ここ数年の行事は11月スキー映画会（又はビデオ鑑賞会）12月初すべり（有志）1月合宿（3泊4日講習）2月市民スキー（2泊3日、講習、パッチテスト、競技会）3月スプリングキャンプ（2泊3日、講習、パッチテスト）春休み中のジュニアスキー（3泊4日、講習）4月末の春スキー（有志、ポール中心）である。ジュニアスキーは去年、今年と100人の申込み者があったが会場（木島平）の雪不足で残念ながら中止となっています。

有資格者は5名と小人数ですが、行事毎に講習が終わってから上級者も含めて、指導者研修を行っています。リフトが止まり暗くなって星が出るまで続けるので、時々パトロールに注意されるほど……。その甲斐あって、今年度当連盟から栗原清治を都連の専門員として推薦することができました。これを期に現在不足している20代の若い指導者を育て、当連盟の活動を大きく広げていきたいと考えています。諸先輩ならびに関係各位の御協力をお願い申し上げます。

近々東京近郊にドーム式や人工スキー場の開設が企画されている。天候を案じることなく、又東京から通勤距離内で滑走できることは有難いことだが、スキーヤーのライフスタイルも変わっていくのではないだろうか。やはり自然の雪がいい。来シーズンへの雪乞いをしたい。今や新緑、残雪を求めての春スキーに頑張るみなさん、ご活躍を期待します。

SAT編集委員会委員長 久保田友江

委員 市川友之・北川清次・総務部専門委員